

教育連携型研修会「英語教育」研修会報告書

2022年8月23日(火)、名桜大学SAKURAUM6階スカイホールAにおいて、沖縄県内の小・中・高・大学の教員及び高校・大学生を対象として、英語教育に関する研修会を実施いたしました。本研修会の目的は、「小中高の英語教育は今後どのように取り組むべきか」に焦点を当てて、灘中学校・高等学校の元英語教師である木村達哉先生にご公演いただきました。参加者は、49人(対面26、オンライン23)で、県内のみならず県外の教育関係者の方々の参加もございました。研修概要は以下の通りです。

<教員の役割>

- 成績が上がるメカニズムを知っておかなければならず、「授業」→「復習」→「自習」→「質問」→「自習」→「質問」の循環を常に意識することが大切である。また、成績を伸ばすのは「自習」時間であり、英検、GTECなどの資格対策を実施したからといって成績が伸びるわけではない。
- 教員はアドバイザーであり、成績の上がない生徒に対しては、その理由を伝える必要がある。また、勉強する理由を「社会的」(勉強の裏には困っている人を助ける役割があること)、「教育経済学的」(勉強すればお金が入ってくる)な観点から説明し、「人生において何を選んでいくのか」を伝える役割がある。

<英語教育法>

- 語彙の習得について
 1. スペリングより、発音と意味を重視(教員もしっかり勉強が必要)
 2. 語彙の勉強の際にリスニング強化
 3. Quick Responseを意識した単語・熟語の強化
- リスニング勉強の手順
 1. 読む(意味)
 2. 真似る(発音) → 音を真似る
 3. シャドーイング(反復) → 音と意味を打ち破る訓練
- 聞き取るために必要な要素は「単語」「文法」「発音」
- 話す勉強
 1. どのレベルを目指すのか明確に
 2. メモをとって文法ミスがないよう → ブロークンイングリッシュを許容しない
 3. 型を無視しない
- 日本の英語教育ではReadingを先に学ぶが、聞くことを先に学び、その後「読む」「真似る」を取り入れること

<教育環境と社会的変化>

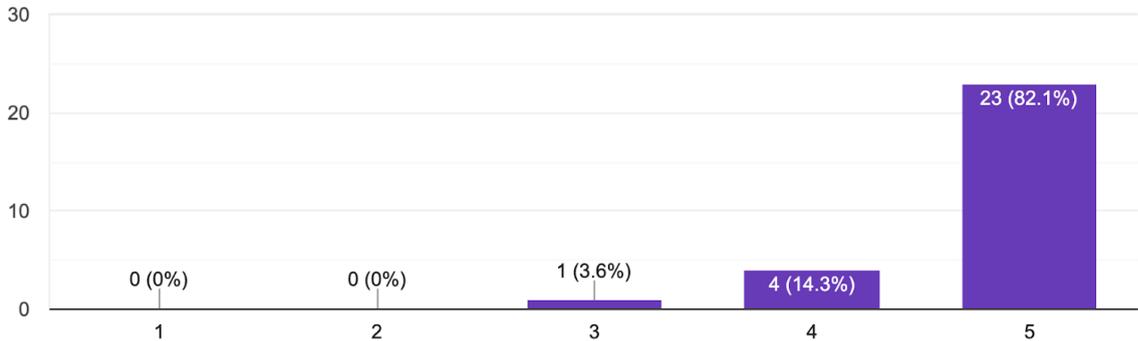
- 人口減少による人材と人員の枯渇が進むので、学校教育の抜本的変革が望まれる。また、経済格差による大学選択が顕著化し、国公立大学の人気向上と私立大学の人気低下およびレベル低下が予想される。

本研修会は名桜大学高大接続研究会が主催し、国頭教育事務所及び北部12市町村教育委員会の後援を受けての開催となりました。また、ご参加いただきました皆様、準備・運営にご協力いただきました教員養成支援センター、北部教育研修センター、リベラルアーツ機構の皆様にご心よりお礼申し上げます。

2022年8月29日(月) 高大接続研究会(高安、木村、立津)

参加者の満足度(5段階評価)

満足度
28件の回答



感想

- 楽しいお話を交えながらポイントを押さえた講演をありがとうございました。音読指導によりシフトしたリスニング力強化につとめ、それが必然的に語彙力強化につながる教科指導を実践していきたいと再確認しました。ありがとうございました
- YouTubeで所々聞いていたところをまとめてガッツリ聞けて、オンラインでも勉強になりました。今日名桜に行けなくて残念。
- 英語を学習する上で、核となる部分が多く、どのように生徒に伝えるか再認識することができました。お話もとても楽しかったです。
- とても勉強になりましたし、大学生としても、勉強のモチベーションアップになりました。
- 学び多い研修会でした。企画運営ありがとうございました！
- 今後の授業づくりにとてもプラスになる講話でした。
- 2時間30分でなく、もっと話を聞きたかったです。
- 学びのきっかけ、モチベーションの高めかたとして、大人がモデルになるというお話が印象的でした。教員一人一人が外国語を習得したモデル、大人という人生のモデルとして見せていく必要があると思いました。
- とてもやる気になりました。授業で、実践します。
- 英語学習だけでなく、沖縄や日本の未来について教育の視点からかんがえささるられ考えさせられる講演でした。
- 4技能の学び方を実際の活動と併せて説明していただき、授業内で取り入れる方法や取り入れていく順番等、具体的にイメージすることができました。今回の研修を通して、自分自身の英語力向上にもより一層力を入れて頑張っていきたいと感じました。ありがとうございました。
- 実践的な内容で、語学習得の根本を再確認することができました。受けていて楽しい講義でした。私もこのような教え方ができるように、英語習得を子どもたちと頑張りたいと思います。
- 大変勉強になりました。主催してくださりありがとうございました。
- 人材を育成するために、私たち教員が担う役割が大きいなと感じました。人と人とを隔てる壁の大部分が言語だと思うので、生徒たちが将来英語で海外の方々とコ

コミュニケーションを取ることができるよう、英語教育の充実に努めることが大切だと改めて実感しました。

- 内容も簡潔にまとまっており聞きやすいのはもちろん、講師の先生の話方が分かりやすかったです！
- 4技能それぞれのポイント、とてもためになりました。ありがとうございました！
- 英語を教える上で、教師は子どものアドバイザーとなり、勉強の仕方を教えて力を伸ばすお手伝いをする役割だと学びました。現在の私の授業では不十分な部分が多く見つかったので、木村先生から学んだことを活かして、子どもたちが英語を伸ばしていける環境づくりを頑張りたいです！
- 木村先生、今日は貴重なお話しありがとうございました。なぜ勉強しないといけないのか。これからどう生きていくのか。また今後の日本の状況等にも触れていただきいろいろと考えさせられました。ありがとうございました。
- 事例紹介やワークショップなものなどもあり、内容盛りだくさんでとても楽しく参加させていただきました。「どう生きるのか」を、自分自身にも生徒にも問い続けたいと思いました。
- 英語の勉強法だけではなく、子どもたちに動機付けをすることの大切さを学びました。
- 我が国にもこんな素晴らしい考えを持った先生がいらっしゃることに感激しました。木村先生にはまた研修会の講師をお願いしたいです。
- 軽快なトークで惹きつけられる講演でした。
- 私のモチベーションがあがりました。ありがとうございました。
- QuickResponseや、リスニングのトレーニングなど、面白い指導法を知れたので、早速二学期からやってみたいです。
- 学校現場にいと、生徒一人一人の将来や進路に向き合うことが多いですが、なかなか沖縄全体や日本の国力の向上のことまで考えることは忘れがちです。
- 社会で活躍できる人を育てていかないといけないと、改めて感じました。
- 英語だけの話だけでなく、社会的な事も学ぶこともできとてもためになりました。
- モチベーションを第一に考えることやスペリングにこだわらないことなど英語教育において本質的に物事を考える姿勢が参考になりました。
- 後半は参考になることが多かった。自分の授業スタイルの反省にもつながった。

今後の研修会への要望、期待する情報共有内容

- いろいろな教科指導法を勉強したいです。特に観点別評価が導入されて、効率的な評価の仕方等いろいろな実践例を参考にしていきたいですので、ご検討をお願いします。
- 教育関係者ではないのに、視聴させていただきありがとうございました。タイミングがあればまた参加したいです。
- 今後もハイブリッド型の研修や講座があれば、受講したいと思います。今日は、とても有意義な時間になりました。英語学習に対して、様々な視点を得ることができました。
- 定期的に開催していただけると嬉しいです。
- とても充実した研修でした。このような研修があれば、また参加したいです。
- 本日は研修の機会を提供いただきありがとうございました。
- 木村先生が、いろいろな大人のサンプルに触れさせることは子どもたちにとってとても大切だと仰っていました。そのような機会が気軽に参加できる地域講座のような感じであるといいなと思いました。
- 小中高等学校の先生のレベルアップにつながる研修会を開催してほしい。
- またキムタツ先生のセミナー、講演をお願いします。是非また参加させて頂きたいです。
- 実践事例や4技能の指導方法等
- 英語教育×ICT



研修会の様子(2022年8月23日撮影)